

第一回宮古市立地適正化計画検討協議会 会議録

■ 日 時：令和4年8月24日（木）14：00～15：30

■ 場 所：陸中ビル 3階多目的ホール

■ 次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 宮古市立地適正化計画検討協議会会長・副会長の選任について
4. 議事
 - (1) 宮古市立地適正化計画検討有識者会の設立について
 - (2) 宮古市立地適正化計画庁内検討委員会の設立について
 - (3) 市民説明会の開催結果について（報告）
 - (4) 「まちの現状と課題」に関する取りまとめの状況について（報告）
 - (5) 計画内容のイメージについて（情報提供）
 - (6) その他
5. その他
6. 閉会

■ 参加者

協議会委員：南委員、宇佐美委員、坂下委員、盛岩委員、寺井委員、山根委員、高橋（智）委員、高橋（洋）委員、佐々木（重）委員、松野委員、三浦委員、佐々木（隆）委員、川崎委員、甲斐谷委員、木村委員、鈴木委員、嵯峨委員代理、高濱委員、高峯委員、盛合委員、田代委員、箱石委員、岩間委員、去石委員、小野寺委員、山崎（俊）委員、中屋委員、盛合委員

事務局【都市計画課】：藤島部長、中野係長、花坂主査、田道主査、高屋敷主任

【（株）エイト日本技術開発】：島、奥谷

■ 議事録（要旨）

○3. 宮古市立地適正化計画検討協議会会長・副会長の選任について

事 務 局：次第3の「宮古市立地適正化計画検討協議会会長・副会長の選任について」に進ませていただきます。宮古市立地適正化計画検討協議会実施要項第4条第1項に基づきまして、会長・副会長を選出し、本日の議事に入らせていただきます。

事 務 局：会長・副会長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。

事 務 局：立候補がないようですので、事務局の方で案を提案させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。会長として南委員、副会長として宇佐美委員をご提案いたします。皆様よろしいでしょうか。

委 員 一 同：異議なし。

事務局：それでは会長を南委員、副会長を宇佐美委員にお願いいたします。南会長から一言ご挨拶をお願いいたします。

南会長：岩手大学の南です。この度ご縁がございまして務めさせていただきます。宮古市においては、復興計画の立案以来まちづくりに携わらせていただいています。市民の方が参加されて市民対話を重視しながら復興計画を進めてきたと受け止めている。新たなまちづくりにもこのように市民の皆様と対話を重ねながら計画を進めていこうという姿勢にまず敬意を表したい。それぞれの立場からのご意見を賜りたい。忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

○4. 議事 (3) 市民説明会の開催結果について

委員：説明会について、参加者が少ないのではないかと。この人数の意見を出されても、分母が少なすぎる。当初の参加者数の目標はどうだったのか。

委員：説明会開催の周知は、広報や市のHPをはじめSNSを使用した。当日も防災無線を使って呼びかけたが、このような参加状況となった。

委員：せっかく意見を聞く場ではあったのに地区によっては参加者がゼロであったということは、大いに反省する点であると思う。

委員：立地適正化計画をこれからつくると言うことに関して出てきてほしい質問が出ており、回答も丁寧に行われていると思う。結果を見てもらえるかどうかはわからないが、HPなどに掲載するのも良いのではないかと。以前の会議でも市民説明会の開催時間についての意見があったかと思うので、そのあたりも工夫していただくと今後多くの人に参加していただくことができるのではないかと。

事務局：ご指摘の通り、参加者が少なかったというのは反省点である。立地適正化計画という言葉そのものの馴染みがなかったように思う。土地利用計画というものも、あまり身近でないというものもあると思う。今後の宮古市にとって重要な計画であるので、最初は少ないところからでもワークショップやアンケート調査などで若い人たちに声をかけていきたいと考えている。

委員長：まちづくりへの住民参加は本当に難しい。たくさんの人たちの意見を聞きたいと思っても、なかなか集まらない。但し、参加者が少なくても開催することが重要であり、住民からの意見を大事にしながら進めてもらいたい。

○4. 議事 (4) 「まちの現状と課題」に関する取りまとめの状況について

委員：統計的な数字から導きだした結果が示されていると思うが、市民感情としては少し違う部分も出ているように思う。今後、ワークショップなどをやりながら市民の意見を吸い上げていくのかと思うが、そのあたりはどのように考えているのか。

事務局：データの整理を進めていくと、データだけでは気づけないところも出てくると思うので、そのようなものを整理しながらどのようなことを市民の皆さまにお伺いしていけばいいのか、その方法がアンケートなのかワークショップなのか、どのような年代なのかなども課題を整理しながらターゲットを整理して、次のアンケートやワークショップなどにつなげていきたいと考えている。次回の協議会の時には、アンケートやワークショップの方法

についても皆さんにご相談させていただきたいと思っている。

委員：今回協議会として初回ということであるが、データもはっきりとしていてさすが宮古市だと感じた。個人的な意見になるが、宮古オリジナルなものを目指していくのがいいのではないかと思う。立地適正化計画は全国で策定事例が増えてきており、他の都市と同じということも大事であるが、宮古として何を目指していくかも大事だと思う。それは課題の掘り下げや、様々なデータから見えるもの、市民の思いと合致しているもの、あるいは市民の皆さんもなかなか気づかなかったことなど、このようなデータを掘り下げることによって見えるものもあるかと思う。宮古市は復興計画をこれまでしっかりとやってきていて、立地適正化計画はその延長にあるものだと思う。また、関連として津波がよく来る地域であることや、都市計画区域が市域全体に比べて広いわけではない。様々な課題を一つずつ考えていくことが結果的には宮古市のオリジナルを追求していくことになるのではないかと思う。次回以降も課題の掘り下げと市民の方々との積極的な対話がポイントになってくると思っている。

事務局：おっしゃる通りだと思う。今後さらに市民の方々のご意見を聞きながら立地適正化計画を進めていきたいと思う。今後ともよろしくお願いします。

○4. 議事 (5) 計画内容のイメージについて

事務局：これまでの説明は、計画のイメージである。立地適正化計画はどういうものなのかわかりにくいところがあるので、ざっくりこのような構成でこのような内容で進めるといったものである。具体的な内容は、これからの宮古市の計画を作ることになるので、他都市の事例なども参考にしながら皆さまのイメージがしやすいようにと思って紹介をした。具体的な宮古市の計画はこれから検討していくということをご理解いただきたい。

委員：最後に目標値があるが、宮古オリジナルなものという意味でも目標値にこだわっていただきたい。全国的な傾向として、理念や施策の内容は磨き上げられているが、目標値は一般的なものになっているという計画が多い。それは悪いことではないが、ぜひ宮古市が目指したいものに対応した目標値があるはずなので、計画としては20年先を見据えた計画を考えて欲しい。立地適正化計画は、長い期間を見据えて持続可能な都市構造を目指すというものなので、向かっている方向が正しいかを適宜チェックすることが大事である。目標値をしっかりと考えて、チェックしてフォローアップしていくという流れがこの計画の良いところなので、宮古オリジナルを考えていくと良い計画になるのではないかという感想である。

委員：進行管理は説明していただいた流れで良いのかと思う。宮古市としては、防災指針を考えることが難しいのではないかというのが率直な感想である。防災の観点からリスクを背負っていると言わざるを得ない。防災リスクのある地域とDID地区が重なる地域が非常に大きいということは、宮古市の特性として避けられない。ここの整理をどのようにしていくのかは、時間をかけて検討していくしかないと思っている。都市機能誘導区域については、市民の皆さまからもおそらく概ねの賛成を得やすい都市構造だと思うが、居住誘導区域については、他の市町村と比べてもかなり丁寧な説明と具体的な根拠が必要になると思う。できるだけ具体的な居住誘導区域の設定を協議会で議論していきたい。

事務局：事務局からのお願いになりますが、今回はまだ具体的な話にはなっていないが、今後計画を進めるにあたって各分野の皆様の視点や知恵などお力添えをお願いします。

○4. 議事(6) その他

事務局：事務局からは特になし。

以上

